

令和 8 年度 多職種連携意見交換会
(第 134 回北区在宅ケア連絡会)

「明日につながる多職種連携 ～手を届かせるために～」

多職種連携意見交換会

在宅での認知症ケアの場面においてご家族が支援を抱え込んでいたり、家族間で認知症に対する認識や支援の方針に温度差があることで在宅サービス支援者是对応に苦慮する場面も多く有ることと思います。そこで、医療・福祉の連携により介入した実際の事例をご紹介しますことで、多職種連携による認知症支援の発展、深化を目指す研修を企画いたしました。是非ふるってご参加ください。

日時:令和 8 年 9 月 14 日(月) 18:30～20:00

場所:北区民センター 3 階 区民ホール (北区北 25 条西 6 丁目 1-1)

(駐車場にかぎりがございますので、出来るだけ公共交通機関を利用してお越しください)

〔開会の挨拶〕 さっぽろ在宅医療クリニック 院長 西川 就

〔テーマ〕「支援の手が届きづらい方々への多職種連携について」

●実践報告:(敬称略)

①「本人と家族が地域で暮らし続けるための多職種連携」

ケアプランセンター幸寿 管理者 長多 将太

②「認認介護を通じて ～思いの異なる家族への支援～」

株式会社 LINK(小規模多機能ホームエターナル) 代表取締役 岩本 栄行

③「在宅医療から見える「認認介護・独居認知症」のリアル

— 多職種で「手遅れ」を防ぐ地域包括ケア —

医療法人さくら ホームケアクリニック麻生 院長 井尻 学見

●グループワーク:実践報告を踏まえて、多職種で明日から活動、連携出来ること

〔閉会の挨拶〕 みきファミリークリニック 院長 三木 敏嗣

申し込みフォームにてお申し込みください 締切: 9 月 7 日(月)

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdYMRMpTS_VfNsT-53AyiNUkK83gb8ZFbQbjmp4qP_8kWLzjw/viewform?usp=publish-editor

主催:札幌市医師会、札幌市医師会北区支部・東区支部

共催:さっぽろ北部認知症連携の会、東区地域ケア連絡協議会(第257回例会)、北区地域連携ネットワーク

問合せ先:北区第 3 地域包括支援センター

TEL 011-214-1422

札幌市医師会 在宅医療・介護・認知症サポートセンター

TEL 0120-142-864

